

令和5年12月18日(月)

# 実行理事会だより (第6回)

福岡教育大学附属福岡小学校PTA

短日の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。第8回実行理事会が12月13日(火)に行われましたので、お知らせいたします。

## 1 PTA 会長から

各専門委員会や保護者ボランティアの活動を通して、つつがなく進行することができたこと感謝したいこと、できる人ができるときにという考えのもと新しい形の活動ができたことを引き継ぐことによって、次年度への計画を立て、よい年を迎えることができるようにしたいこと等についてお話をいただきました。

## 2 案件

### (1) 各委員会より

学級代表委員会	教育研究発表会の児童対応や登下校支援、個人面談の協力、学級懇談会の進行等 教育研究発表会のボランティアは公開授業のみの来校にさせていただけてよかった。
学習委員会	50円バザー品の購入は、一人一個のみで内容を充実させた。バザーの販売時も縦割りに より混乱なく進行できた。あらつフェスタのメッセージコーナーを懇談時に保護者に披 露することができた。
友愛委員会	あらつフェスタのクイズラリーは、児童と教師をつなぐ架け橋になった。次年度も本年 度の方向性で企画していただければと考えている。
ふじだな委員会	ふじだな広報の現況報告、ふじだな文集作成作業等の現況報告と1月の方向性について。 あらつフェスタのフォトブースは、事前に名簿を共有し、放送をしたことで、全グル ープの撮影ができた。仕分けや児童への配付方、データの管理、ファイル入力等の課題を 次年度に引き継いでいく。
環境委員会	キーホルダーづくりをほぼ全員の児童に提供することができた。作業工程を簡略化する ことで、低学年の児童も悩むことなく製作することができた。
PTA 役員	藤の花に児童から「志」の言葉が多く記述する姿に、学びが根付いていることを感じた。

### (2) 学校より

#### ○教務主任(大村)より

あらつフェスタの成功は、PTA・同窓会の方々の細やかな配慮と周到的な準備のおかげである。子供たちも縦割り班による2回の話し合いを経て、学校行事を自らがつくる意識で臨むことができた。年末の冬季休業前集会も児童会を中心に成長を自分たちで振り返り次に生かす場にしたい。

#### ○研究部長(西島)より

教育研究発表会におけるボランティアの役割と動きの全体像を確認いただくとともに本校職員との連絡・調整を行い、進めていきたい。参会者が11月より2月が多く見込まれる中で、できることをできるところまでお願いしたい。役員の皆様に各担当の主務者を引き続き担っていただきたい。

#### ○教頭(井手)より

本年度の取り組みの成果は、PTAの協力あつてのものである。地域がない学校だからこそ、つながりや愛情を誇りに変えていきたい。次年度に向けて、成果と課題の集約をお願いしたい。遠行会においては、少雨決行で進めていく。多少の困難の中でも励まし合いながら完歩を目指す経験をしてほしい。

## 3 副校長挨拶(田中副校長より)

委員会引き継ぎ式等、子供たちの取組も6年生から下学年へ引き継がれる行事を行っているところである。また、現在学校全体としても次年度の研修や学校行事等の見通しを立てている。日頃のPTA活動に感謝をするとともに、次年度を見据えながら本年度のまとめを考えていただきたい。

(文責 教務主任 大村)